

ソーシャルメディア利用チェックリスト

1 相手のことを考える子

- 相手の「気持ち」や「状況」を考えてコミュニケーションできる

2 役に立つ使い方を考える子

- 自分の勉強や生活に役に立つ使い方ができる
- だれもが良かったと笑顔になれる使い方ができる

3 使い方を振り返る子

- 利用時間や使い方を振り返ることができる
- 誰といつどんな使い方をしているかを保護者や先生に説明できる

4 ルールを考える子

- 保護者と一緒に使い方のルールを考え守ることができる
- 相手のことを考えて友達同士でルールを考え守ることができる

5 困ったときは相談できる子

- 困ったときは保護者や先生に相談することができる
- 友達が困っていたら保護者や先生に相談することができる

保護者と先生方へ

このガイドラインは、未成年の子供たちがソーシャルメディアを利用するうえで必要になってくる考え方や態度のもとになっているものです。もちろん、これ以外にも安全教育として必要になってくる禁止事項や法律的なルールも必要です。ここでは、多くのトラブル事例だけでなくよい使い方の事例などをもとに、いずれ利用することが必要となった場合や、新しい機種やサービスが登場した時の判断の基礎となる不易の内容を提示しています。使うことを禁止するだけでなく、これから使う子供たちが、思いやりや共感などを大切に、自身で判断して適切な使い方ができるように一緒に考え、取り組んでいただけるようお願いいたします。



小学生が安心してインターネットを利用するための

ソーシャルメディアガイドライン

小中学生のみなさんへ（ガイドライン作成の目的）

スマートフォン等を利用したソーシャルメディアは、みなさんの生活や学習、お友達との交流に欠かすことができない道具となってきています。すでに使っている人や、これから使ってみようと考えている人も、正しく使うためには自分自身で考えて判断することや、保護者との約束事を守ること、社会の仕組みを理解しておくことなどがが必要です。大人になった時にうまく使えるように、今から使い方について理解し、モラルを身につけておきましょう。

あ

あいて
相手のことを考える子

や

やく た つか かた かんが
役に立つ使い方を考える子

つ

つか かた ふ かえ
使い方を振り返る子

る

かんが
ルールを考える子

こ

こま そうだん
困ったときは相談できる子





ソーシャルメディアガイドライン

「あやつるこ」



あ あいて かんが こ 相手のことを考える子

あなたのことを考えてくれているメッセージを受け取るとうれしくなるでしょう。だから、文章を送る前に、もう一度読み返して相手の気持ちを考えることが大切です。それから、相手の場所や状況を想像して返事を待ってあげる余裕も必要ですね。メールやメッセージなどを送るときや受ける時は、いつも相手のことを考えるようにしましょう！



や やく た つか かた かんが こ 役に立つ使い方を考える子

自分に役に立つ使い方ってどんな使い方なのでしょう。勉強のために何かを調べることや、家族と連絡をとるために使うのは役に立つ使い方ですね。なにより、相手が笑顔になれる使い方ができたらいいね。例えば、遠くに住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんにメッセージなどを送って喜んでもらえたらうれしいよね。



つ つか かた ふ かえ こ 使い方を振り返る子

保護者や先生にどんな使い方をしているか質問されたときに、キチンと説明できるかな？「こういう風に使っています」と言えるようになるといいね。スマホをどのように利用しているか自分で振り返ってみましょう！



る かんが こ ルールを考える子

使うためのルールを自分で言うことができますか？小学生のあなたは、保護者と一緒に考えて、自分でルールを守ることが必要です。使ってもよい時間や場面、「既読」「開封」に対しての大きすぎる反応など一緒に使うお友達とも、ルールを考えて守ることができるようにしましょう！



こ こま そうだん こ 困ったときは相談できる子

「悪いことしてしまったっ！」と思ったら、自分で何とかできると考えず、親や先生に話してみる勇気をだそう。少しだけ怒られるかもしれないけど、きっと後で「よかった」と思うはず。いつもネット利用を自慢している友達が、「ネットやらないっ！」って、なにか面白くないことがあったのかな？